

平成 23 年 1 月 31 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

1 号機の原子炉冷却材浄化系の再起動に伴う出力操作について（続報）

平成 23 年 1 月 27 日午後 10 時 50 分ごろ、運転中の 1 号機において、原子炉冷却材浄化系*¹の非再生熱交換器*²出口温度高の警報が発生し、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）および（B）が自動停止しました。

現場の確認を行ったところ、非再生熱交換器出口温度スイッチや当該ポンプ、関連パラメータに異常はなく、当該温度スイッチの一時的な誤動作によるものと考えておりました。

[（平成 23 年 1 月 28 日お知らせ済み）](#)

当該温度スイッチについて入出力確認、打振試験、端子部点検などを行い、問題がないことを確認の上、1 月 29 日午後 1 時 35 分より発電機出力を約 4 % 降下させ、同日午後 4 時 7 分に原子炉冷却材浄化系ポンプの再起動操作を終了し、発電機出力を定格出力まで上昇させました。

その後、1 月 30 日午後 4 時 3 分ごろ、再度、非再生熱交換器出口温度高の警報が発生し、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）および（B）が自動停止しました。現場の確認を行ったところ、非再生熱交換器出口温度スイッチや当該ポンプ、関連パラメータに異常はありませんでした。

今後、事象の再発を踏まえ、原子炉冷却材浄化系ポンプが自動停止に至る要因について、詳細に点検・調査を実施します。

現在、原子炉冷却材浄化系ポンプは停止しておりますが、プラントの運転に影響はなく、本事象による外部への放射能の影響はありません。

*** 1 原子炉冷却材浄化系**

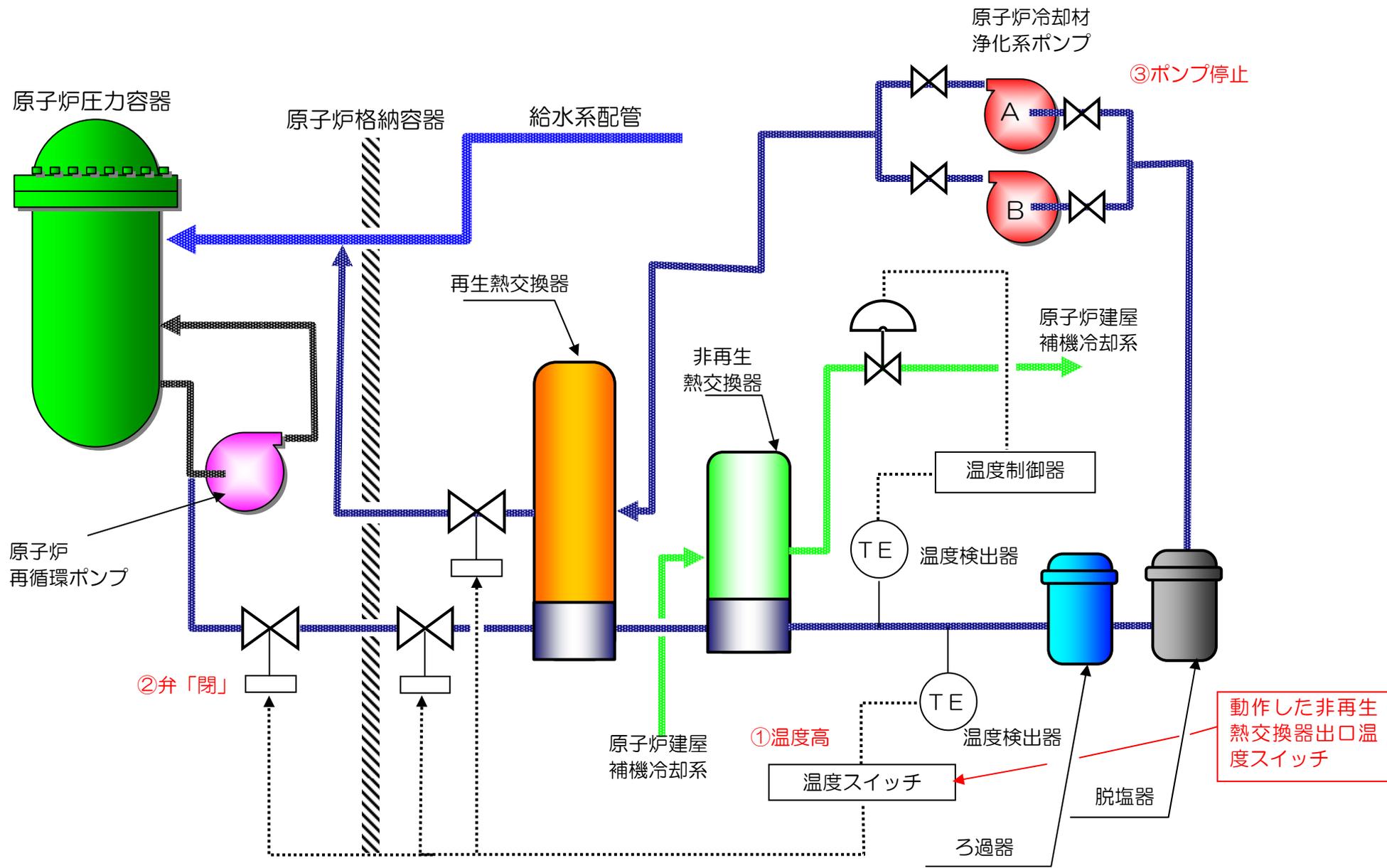
原子炉水中の不純物を除去し、水質を維持するための系統。

*** 2 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器**

原子炉冷却材浄化系に設置されている熱交換器であり、下流側にある浄化用フィルタを高温の原子炉水から保護するため、熱交換器により原子炉水を冷却するために設置されている。

非再生熱交換器は他系統（原子炉補機冷却系統）の冷却水にて冷却している熱交換器。

以 上



1号機 原子炉冷却材浄化系 系統概略図